

コミュニティ放送局として、地元で愛され続けて18年。この放送局「FMジャングル」の新局長に、今年の7月就任したのが、佐伯豪介さんです。佐伯さんは、大阪からふるさと・日高町へのUターン組。大阪でのシステムエンジニアとしての経験を生かし、4年前に、番組の制作技術者としてFMジャングルに再就職しました。現在は、制作技術の他、管理運営やイベント企画、そして、局長として、オールマイティーに活動しています。初めての取材では、ラジオ

でスキーマの実況が伝わるのか？と言葉のみで伝えることの難しさを学んだと話す佐伯さん。現在は「情報を伝えるのみでなく、リスナーがその情報に興味を持ち、さまざまな行動に移してもらえるまでが目標」と話します。12月24日(土)には、局長に就任して初めてのイベント「HAPPY JUNGLEBELLY 2016ヒーローショー(所豊岡市民プラザ料無料)」も開催します。佐伯さんは、ラジオを通してまちを盛り上げるため、今日も地域を駆け回ります。



向井沙耶香さん(DJ)

佐伯豪介さん

多田香菜さん(DJ)

ラジオを通してまちを盛り上げる FMジャングル新放送局長就任 佐伯豪介さん(28歳)日高町山宮



Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲市内各小学校児童による子ども義士行列

第19回大石りくまつり

忠臣蔵・大石内蔵助を支えた妻・りくをしのぶ

10月22・23日に、市役所市民広場などで「第19回大石りくまつり」が開催されました。

大石内蔵助を支えた妻・りくの遺徳をしのび、豊岡観光協会などで組織する実行委員会が主催。

22日は「『りく女』追悼法要」が営まれ、23日には、今後1年間、豊岡の観光PRを担う「豊岡・りく娘」のお披露目や、パレード、ステージイベントなど多彩な催しが行われ、約1万人の来場者が祭りを楽しみました。

「豊岡・りく娘行列」「子ども義士行列」「稚児行列」などで構成されるパレードには約200人が参加。時代装束に身を包んだ子どもたちの真剣な顔つきを、見物客からは温かい笑顔で見つめていました。

三原谷の川の風まつり

初となる三原御柱祭りを開催

10月22・23日、竹野地域の山あいにある三原谷で、自然やアート、食を楽しむ三原谷の川の風まつり2016が開催されました。

旧大森小学校では、地元産の食材にこだわった三原谷ランチが提供され、映像作家の藤原次郎さんやイラストレーターの黒田征太郎さんらの作品が紹介された他、隣接する田んぼで、碓井俊樹さんのピアノコンサートなどが開催されました。

また、サントピアあすなろ(旧三原小学校)では23日、初となる三原御柱祭りが開催され、130人以上の参加者は「よいしょ、よいしょ」と声を掛け、樹齢130年、長さ10m、直径70cmの杉を、上り坂に沿って200m引き上げていました。



▲130人以上が集まり御柱を引上げ

